

◆お名前/ご所属： 桑川 昂平(クメガワ コウヘイ) 先生 /公益財団法人がん研究会・NEXT-Ganken プログラム がん細胞多様性解明プロジェクト

◆研究テーマ：乳がん臨床検体シングルセル ATAC-seq による機能的ゲノム領域の同定とその機能の解明

◆助成金額： 100 万円

#### 1：研究者になろうとしたきっかけ

医学部学生の時に聴いたエピジェネティクスの講義に感銘を受け、基礎研究に興味を持ちました。また、卒後臨床研修の中で、未だ助けることのできないがん患者さんが多く存在することを実感し、研究者を志しました。

#### 2：助成研究の内容紹介

ヒトゲノム DNA は1細胞あたり2メートルもの長さを持つ巨大な情報記憶装置ですが、遺伝子の情報が記録されているのは全体の2%程度で、その他の領域の機能はほとんどわかっていません。本研究では患者さんからいただいた検体を解析することで、遺伝子情報が記録されていない「非コード領域」のうち、乳がんで重要な役割を果たしている領域を同定し、その機能の解明を目指します。

#### 3：2の将来に繋がる結果予想・目標

乳がんの遺伝子発現制御の仕組みをより深く追求することで、新たな治療戦略に結びつく基礎的知見を得たいと考えています。

#### 4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

この度は、私の研究に助成を頂きまして、誠にありがとうございます。少しでも将来のがん診療・治療に役立つような発見ができるよう、努力していきたいと思っております。